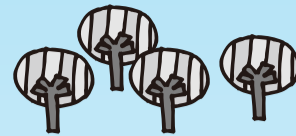
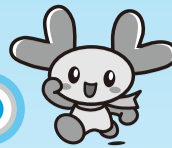


A. こんなことやっています。



日常生活自立支援事業

日常生活自立支援事業ってどんな事業ですか

認知症や知的障がい、精神障がいのある方で地域に暮らしていて不安や疑問、判断に迷ってしまうことはありませんか？

新潟市社協では、認知症、知的障がい、精神障がいなどによって判断能力が不十分な方で、福祉サービスの利用援助や利用料の支払いなど、自己の判断で適切に行うことが困難と思われる方を対象として、日常生活の自立を支援しています。

どんなことをお手伝いしてくれますか

利用契約を結んだ後、専門員及び生活支援員が次のお手伝いをいたします。

- ★福祉サービスの利用のお手伝い
福祉サービスを利用するための手続きや利用料を支払うお手伝いをします。
- ★日常的なお金の出し入れのお手伝い
年金及び福祉手当の受領、医療費の支払い等のお手伝いをします。
- ★書類等のお預かり
預貯金の通帳や年金証書などをお預かりします。

【生活支援員養成講座のお知らせ】

新潟市社協では日常生活自立支援事業でお手伝いをさせていただき生活支援員を募集しています。生活支援員の仕事はお金を預かるなど責任のある仕事ですが、利用者の方の喜ぶ姿を直接見られるなど、やりがいのある仕事です。興味のある方は、生活支援員養成講座にぜひご参加ください。

(開催日時)平成26年8月22日(金)、25日(月) (会場)新潟市総合福祉会館
(申込締切)平成26年8月4日(月)
詳しくは新潟市社協ホームページをご覧ください。

成年後見支援センター事業・法人後見事業

成年後見ってどんな制度ですか

認知症、知的障がい、精神障がいなどによって判断能力が十分ではない方の意思を尊重し、心身の状態や生活状況に配慮しながら、財産管理や身上監護などを支援する人を選ぶことで、本人の権利を守る制度で、法定後見と任意後見に分けられます。

センターではどんなことをやっていますか

新潟市社協では、新潟市からの委託を受け、下記の業務を行っています。

- ・成年後見制度の内容、手続き、関係機関の紹介などの相談
- ・講演会や相談会を開催するなど成年後見制度の普及・啓発活動
- ・市民後見人の養成と活動支援
- ・親族後見人の方への相談支援

法人後見事業ってどんな事業ですか

「市民後見人養成研修」を履修した福祉に熱意のある市民が、新潟市社協の一員(後見支援員)として後見業務に携わります。

Memo1 ～市民後見人とは～

弁護士・司法書士などの資格を持たなくても社会貢献への意欲が強く、研修などにより成年後見について一定の知識・態度を身につけた一般市民による後見人候補者です。

Memo2 ～日常生活自立支援事業と成年後見制度の違い～

日常生活自立支援事業は、ご本人との契約により日常的な生活の範囲をお手伝いする事業です。ご本人に、このサービスを受ける意思があり、なおかつ契約の内容をある程度理解できる必要があります。以下のような場合は、成年後見制度の利用が適切です。

- ・認知症や障がいの状態が重く、日常生活自立支援事業の契約が難しい
 - ・頻繁に消費者被害に遭うなどの不要な契約を取り消す必要がある
 - ・不動産の売却や老人ホームなどへの入所の契約
 - ・遺産分割協議
- など「重要な財産管理や法律行為」、「療養看護等に関する契約」等が必要な場合となります。

もしもご自身が、ご家族が、認知症や知的障がい、精神障がいによって判断能力が不十分だと思われ、日常的な金銭管理や福祉サービスの利用に不安や心配がある方はご相談してみませんか。

日常生活自立支援事業について:あんしんサポート新潟(TEL:025-243-4416) / 成年後見制度について:新潟市成年後見支援センター(TEL:025-248-4545)

にいがた市の子育て支援

ファミサポ


ファミサポで助かってます!!

見守りを依頼している西区の高橋美津子さんの活動を紹介します。

☺ 初めて提供会員さんと顔合わせをしたときは、少し緊張しましたが、色々とお話をしている中で、ご自身の経験も交えた、子育てについてのためになる情報をたくさんいただきました。実家に子どもを預けるような安心した気持ちで活動を依頼することができました。家をご近所というのも何となく安心でしたね。

☺ 学校が夏休みの時などは、子どもが長い時間家にいることになるので、親が帰ってくるまで家でひとり待たせていることが心配でした。それでファミサポに登録して、見守りをして下さる方を探していただきました。

☺ 一番良かったことは、提供会員さんに見守りをお願いした日は、子どもの表情がとても明るかったことです。子どもと一緒に遊んだことを楽しそうに話してくれるのを聞いて、提供会員さんとい時間経過させたんだなって思いました。事前のしっかりした打合せもあって、子どもの性格や志向を考えて接して下さっているようです。おかげさまで安心して仕事をすることができます。



「将棋がすごく好きなんですよ。はさみ将棋を提供会員さんに教えたなんて、すごい上から目線で言ったりして(笑)」
高橋美津子さん
匡史(まさひろ)くん

～ファミサポ(新潟市ファミリー・サポート・センター)とは～
主に子どもの預かりと送迎を行う子育て支援。地域の中で子どもを預けたり預かったりすることで、人と人とのつながりを広げ地域ぐるみの子育て支援を目指します。

平成25年度事業報告

●多様な生活課題に対応するための地域福祉活動の推進

- ・【生活課題に対する個別支援と地域課題解決に向けた住民活動支援(CSW)】の機能強化と各区社会福祉協議会における実践
- ・地域の茶の間・いきいきサロンの立ち上げ、運営支援、友愛訪問活動の推進
- ・生活福祉資金による貸付
- ・ボランティア、市民活動相談、活動支援の実施

●福祉総合相談窓口機能の充実

- ・福祉総合相談センターの機能強化
- ・認知症高齢者、知的・精神障がい者など判断能力が不十分な方を対象とした福祉サービスの利用援助・日常的な金銭管理サービス・書類等の預かりサービスの実施
- ・新潟市成年後見支援センターの開設、法人後見事業の開始
- ・子育てなんでも相談センター「きらきら」の運営
- ・自殺予防対策事業「こころといのちのホットライン」の運営

●子育て支援事業の充実と安定的な介護保険事業運営等の取り組み

- ・ひまわりクラブの管理・運営
- ・ファミリー・サポート・センター事業の実施
- ・各種介護事業所の運営
- ・新潟市総合福祉会館、老人福祉センター、健康福祉センター等の施設管理、運営

●地域に根差した区社会福祉協議会の活動

- ・区の地域特性・課題に応じた地域福祉活動の展開
- ・低所得・生活保護世帯の中学生に対する学習習慣支援活動の実施
- ・地域福祉推進フォーラムの開催

●組織運営体制の基盤強化

- ・適正な組織運営のため各種会議の実施と会計処理
- ・共同募金活動の推進
- ・コンプライアンス体制の構築と人材育成等の各種法人内研修の実施
- ・「福祉・介護・健康フェア2013」「第16回新潟市民健康福祉まつり」の開催
- ・CSR推進セミナーの開催

平成25年度決算

(単位:円)

貸借対照表	資産の部		負債の部	
	金額	金額	金額	金額
流動資産	1,166,415,688		流動負債	629,017,115
固定資産			固定負債	561,987,827
・基本財産	519,170,636		負債の部合計	1,191,004,942
・その他固定資産	1,621,096,661		純資産の部	金額
			基本金	464,777,000
			基金	1,345,415,086
			国庫補助金等特別積立金	56,370,266
			次期繰越活動収支差額	249,115,691
			純資産の部合計	2,115,678,043
資産の部合計	3,306,682,985		負債及び純資産の部合計	3,306,682,985

資金収支報告	会計名	収入	支出	差異
	一般会計	4,291,036,907	4,263,434,646	27,602,261
	特別会計	698,142,242	721,382,815	△ 23,240,573
	合計	4,989,179,149	4,984,817,461	4,361,688